

たんぽぽだより

10月1日～11月13日までの様子

令和2年

11月13日

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、冬の気配が感じられるようになりました。10月は課内活動やハンガー掛けなど、新しいことに挑戦をしました。そんな子どもたちの様子をお伝えします。



〈運動遊び〉

体を動かすことが大好きな子どもたちは、とても楽しみにしていました。ウサギやライオン、カエルなどの動物に変身をして体を動かしたり、鉄棒にぶら下がってみたりといろいろなことに挑戦をしています。



〈ハンガー掛け〉

制服をハンガーへ掛ける練習を行っています。始めは、ボタンを留められなかったり、すり落ちてしまったりと、思うようにできずに苦戦している子が多くいました。保育者と一緒に繰り返し行ったり、そばで見守ったりしてきたことで「見ててね」「自分でできるよ!」という声が増えてきました。



〈日常の様子〉

2階からゆり組ひまわり組が叩く太鼓の音が聞こえてくると、子どもたちは興味津々で耳を澄ましていました。たんぽぽ組でも太鼓を用意すると、お兄さんお姉さんが太鼓を叩く姿に憧れの気持ちをもった子どもたちが、力強く叩く姿が見られました。

また、遠足で拾ったどんぐりを使いどんぐり転がしをして遊んでいます。色々な方向に転がるどんぐりに顔を見合わせて笑い合っていました。



〈10月の誕生会〉

10月の誕生児は2人でした。恥ずかしがりながらも、好きな果物を教えてくれました。

職員の出し物はパネルシアターでした。「てんぐのはな」の曲に合わせて、うさぎの耳やぞうの鼻が伸びて変化していく様子を楽しんでいました。